

# 会議録

- 1 会議名 木更津市立公民館運営審議会第3回定例会
- 2 開催日時 令和7年12月19日（金） 14時00分～16時05分
- 3 開催場所 木更津市立中央公民館 B館3階多目的ホール
- 4 出席者氏名  
【公民館運営審議会委員】 14名  
和田 貴士 小山百合子 高木厚行 石田美穂子 市川一成  
実形昭夫 平野進 室前恵子 秋元豊 梅澤千秋  
小倉博史 澤邊賢司 鈴木和幸 鶴岡俊之  
  
【公民館長】 12名  
山下理 (中央公民館) 出口雅志 (東清公民館)  
唐鎌勲 (富来田・富岡公民館) 竹内康博 (畠沢公民館)  
相場明彦 (岩根公民館) 石井和成 (岩根西公民館)  
鈴木賀津也 (中郷公民館) 江尻益男 (西清川公民館)  
根本修身 (文京公民館) 佐藤雅之 (波岡公民館)  
藤崎仁 (八幡台公民館) 森竹慎子 (桜井公民館)  
  
【金田地域交流センター】 1名  
能城明大 (金田地域交流センター所長)
- 【事務局職員】 4名  
小川泰 (中央公民館事業係長)  
坂井則夫 (中央公民館主任主事)  
牧野淳史 (中央公民館事務員)  
宮城三津子 (中央公民館会計年度任用職員)
- 5 議題及び公開又は非公開の別 公開  
議案第1号 令和7年度公民館文化祭（まつり）の実施及び観察研修の実施結果について
- 6 連絡事項  
(1) 各種選出委員からの経過報告について  
(2) 各種研修会について  
(3) 市公連各委員会からの報告について  
(4) その他
- 7 傍聴人の数 2人
- 8 その他  
定例会終了後、質問・答申に向けての話し合いを実施した。

【資料】

令和 7 年度木更津市立公民館運営審議会第 3 回定例会次第  
第 7 回 金田地域交流センター文化祭 報告書  
公民館の地域交流センターの移行について  
第 6 0 回君津地方社会教育推進大会の開催について（依頼）（事前配布）  
答申の骨子（案）および公民館運営審議会第 2 回定例会 各委員意見取りまとめ  
(事前配布)  
公民館文化祭（まつり）事業報告書（冊子：事前配布）

※事務局より出席者数が 2 分の 1 以上に達した（委員定数 20 名に対し、14 名出席）ので  
公民館運営審議会運営規則第 6 条の規定により、会議が成立したこと、本会議が公開制  
であることを報告。

会議概要 以下のとおり

【鈴木委員長】 それでは、議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。それでは審議  
に移ります。慎重審議について、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。まず、議案  
第 1 号、令和 7 年度公民館・文化祭の実施及び視察研修の実施報告について、事務局よ  
り説明をお願いいたします。

【事務局】 それでは、事務局より説明いたします。青い冊子の資料 2 ページ目をご覧ください。  
こちら議案第 1 号 令和 7 年度公民館文化祭（公民館まつり）実施及び視察研修の実施  
結果について記載しております。公民館文化祭の実施事業報告書につきましては、事前  
に皆様に配布されているかと思いますので、そちらの方をご覧いただければと思いま  
す。令和 7 年度公民館文化祭視察研修について報告いたします。今年度は、令和 7 年 11  
月 1 日土曜日 8 時 55 分から 12 時 10 分まで、桜井公民館、西清川公民館、八幡台公  
民館の 3 館を視察しました。参加者は全 19 名で、教育委員 1 名、社会教育委員 4 名、  
公民館運営審議会委員 7 名、市関係者 6 名、事務局 2 名で実施しました。簡単ですが、  
以上となります。

【鈴木委員長】 それでは、山下中央公民館長から、文化祭の全体概要の説明をお願いいたします。

【山下館長】 それでは私の方から、公民館の文化祭および公民館まつりの実施の事業報告について  
全体概要ということでご説明申し上げます。各地区の文化祭、公民館まつりの詳細に

つきましては、お手元の資料の方をご覧いただいていると思います。今年度の入場者参加者数は全体で1万8226名ございました。令和7年度公民館まつり・地区文化祭につきましては、早いところでは、10月11日（土曜）から始まりまして、一番遅いところは11月2日（日曜）までの実施でございました。一部天候のすぐれない日程等もありましたが、概ね地域の各種団体、地域住民、利用者の方を中心に、日頃の学習成果の発表、文化交流の場として開催されました。地域の文化活動の活性化に寄与することができたと思います。高齢化につきましては各地区進んでいるという話題が必ず出ますが、子どもたちの活動の場面、活動団体の活躍の場が、展示、発表、模擬店、イベントなどを通して、多くの地域の住民の方の交流、繋がりを見ることができたかと思います。簡単ではありますが、全体の報告とさせていただきます。

【鈴木委員長】ただいま事務局より説明をいただきました。質疑応答に入りたいと思いますが、ご意見ご質問のある方は、挙手にてお願ひいたします。

【実形委員】 実形と申します。会計報告で、収入と支出の合計がゼロということなのですが、これは全部の公民館がそうなんですか？

【山下館長】 昨年度は繰り越しがあった所もあったと思うのですが、今年度につきましては、特に公民館が地域交流センターに移行するということもありますので、収支ゼロというよう皆さん工夫して使っていただいたということになると思います。

【実形委員】 工夫してというのはちょっと、何か他に工夫の仕方はなかったのでしょうか。1円単位の収入も記載されているのに、支出もぴったり1円まで支出しましたと。残額はゼロですっていうのは少し無理があるかなと思うのですよね。おっしゃることはわかるのです。今回で終わり、来年から違う組織で違うようにやるということだから残す必要ないことはわかるのですけれども。ただ、これは公金的な扱いに近いのかなと思うので、だからこそ、工夫でももうちょっと他にやり方はなかったのかなと。過ぎたことだから、それ以上は言いませんけれど。それともう1つ、全体的に見て、皆さん一生懸命頑張って集客とかいろいろやってらっしゃるのを、視察研修を見学してわかっているのですけれども、1つ付け加えて、提案というか提言というか、外国人との触れ合いはどうするのか、今後やっぱり考えていかなければいけない問題かなと思うのです。そこがほんなかつたので、次回以降、難しい問題とか、軋轢もかなり出るかもしれませんけれども、やはりそろそろ日本も地域の交流ということで考えれば、外国人との触れ合いをどういうふうにするかを頭の隅に少しあっても良いかなと個人的な意見を申し伝えます。以上です。

【鈴木委員長】ありがとうございました。他にご意見・ご質問のある方いらっしゃいますか。それでは、文化祭に関して何か改めてもう一度ご意見はありますでしょうか。なければ、議案第1号について審議を終了させていただきます。各公民館センターにおかれましては、文化祭の準備、当日の開催、運営につきまして、大変お疲れ様でございました。また、バス視察では3ヶ所の公民館を回らせていただきましたけれども、各地域の特色や取り組みなど、地域の方々にも話を伺いながら視察研修ができました。各地区の文化祭が地域の皆様との交流や文化の継承に結びつき、地域づくりの中心になっているのかないうことを改めて実感できました。また、次年度ですね、地域交流センターに移行されましても、それぞれの地域で実りある取り組みが展開されることを祈念しております。よろしくお願ひいたします。

【鈴木委員長】それでは、この後報告事項に移らせていただきます。初めに各種選出委員からの経過報告についてであります。木更津市社会教育委員は鶴岡委員、木更津市図書館協議会委員は小山委員、お二方からよろしくお願ひいたします。

【鶴岡委員】 木更津市社会教育委員に公運審から出させていただいたおりまます鶴岡でございます。10月3日（金）に第2回の定例会がございまして、本市の場合は定例会第1回では例年、まだ委員が選出されておりませんので、第2回で委嘱を受けさせていただきました。当日は吾妻芸術文化施設に関するスライドを使った説明がありまして、まだ様々な細かな部分が決定していない中で、各委員からご意見や質問が出されました。私からは、1点目に1ヶ月後に迫った文化祭の視察研修について、文化祭を視察いただければ、公民館が地域の核であるということを実感いただけるのでぜひご参加くださいというお話をさせていただきました。それから、新しく地域交流センターになるにあたって、冒頭に教育長から、小中学生が日常的に出入りできるような地域交流センターの姿を想像していますという発言があってですね、日頃から若者の公民館の利用が課題となっている中で、新しく地域交流センターに子どもたち、中高生、小学生が日常的に利用できるような施設になることは非常に素晴らしいことですのでぜひご尽力いただきたいというような話を2点目にしました。3点目は個人的な意見として、新しい吾妻公園文化芸術施設にある図書館の説明の中で、以前ちょっと話のあった郷土の歴史コーナーについてちょっと色が薄くなっていたように見えてしまったので、ぜひ木更津に生まれてよかつたと思えるような、身近な木更津の歴史を郷土のコーナーでしっかり展示をしていただいて、子どもたちに郷土愛を育むようなコーナーをぜひ作ってくださいという個人的な要望をさせていただきました。以上3点を、お話をさせていただきました。以上です。

【小山委員】 図書館協議会委員の小山です。前回の公民館運営審議会から本日までの間に、図書館協議会の会議はありませんでしたので報告事項はございません。次回の会議は3月を予定しているとのことです。以上です。

【鈴木議長】 鶴岡委員・小山委員、ありがとうございました。ただいまの報告に対してご意見・ご質問のある方は挙手にてお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは次に移ります。各種研修会について事務局より報告をお願いいたします。

【事務局】 それでは、各種研修会について報告いたします。君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会及び君津地方公民館連絡協議会の合同研修会が11月21日に君津市周西公民館で実施されました。当日は、早稲田大学教育学部非常勤講師の高井先生をお招きしまして、公民館の基本的な機能と役割、公民館運営審議会委員に期待することということで、講演をいただきました。主な内容としましては、私たちが暮らす時代における社会教育や公民館、公民館運営審議会についてお話を述べていただきまして、その後は、実施ワークとしまして、ダイヤモンドランキングというものを実施いたしました。また今後につきましては、1月25日日曜日の午後1時30分から午後4時10分まで、日本製鉄株式会社東日本製鉄所君津地区において、第60回君津地方社会教育推進大会を実施いたします。ご参加を希望の方につきましては、令和8年1月15日木曜日までに、木更津市生涯学習課まで電話またはメールでご連絡をお願いいたします。なお、公民館運営審議会の皆さんにつきましては、事務局の方に述べていただければと思います。事務局からのお知らせは以上となります。

【鈴木議長】 ありがとうございました。ただいまのお知らせに対して、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

【秋元委員】 質問というよりも意見に近いのですけど、この前の4市の研修会なんかでいきますと、やはり公民館の必要性とか、社会教育の必要性があると先生方が言うのですね。ところが事実上、見ての通りですね、木更津では、社会教育はある意味必要ないみたいな判断ですから、そういう意味では公民館も必要ないと。それで交流センターで物事を進めるという言い方をしているのだけれども、言っている意味はわかるけれども、どうやってその先生方が言っている内容を広めていくのか、あるいは流れに抵抗していくのかをはつきり示していないのだよね。みんな、公民館は今までばらじいことやってきてこれからも必要ですよ。社会教育は常に生きている上で必要ですよと言っている。だから、どういうことなのだろうというふうに思っております。それと、先ほど教育長が地域交流センターに関して子どもに来ていただけるような施設にしたいって盛んに言っており

ますが、もう五、六年前の公運審では、子どもは重要視しなきやいけない。子どもをどうやって公民館に来ていただくかというのは重要課題として議論していたのですけれども、それも教育長は知っていると思います。今更何を言うのかというふうに私は思うのですけれども、地域交流センターにどうやって子どもたちを惹きつけるのかというのはやはり上層部も含めて検討していただきたいのと、今後、教育委員会があまり絡んでこないところでどうやってそれを進めるのかを整理をしていただきたいと思っています。以上です。

【鈴木議長】 ありがとうございました。議長という立場ですのであまり個人的な意見を言ったらまずいのかなと思うのですが、私も4市の研修に参加いたしまして、講師の話が1時間以上に及ぶのですけれども、一部だけ切り取ると誤解を招くかもわからないのですが、講師が公民館運営審議委員をやっていた時に、「私が一番大切にしていた委員としての姿勢」という中で、「公民館にとっての批判的な友人であること」ということを述べていました。先ほどの秋元さんのご意見もそうなのだろうなと思いますけれども、公民館は大事なんだよと。ただ、現状に流されるのではなくて、私たちというか皆さん強要はできませんけれども、私自身も公民館を批判的な目で見て、気づいた点があれば、公民館、館長と相談したり、あるいは地域の住民と相談したりというような気持ちが大事なのではないかなということを改めて感じさせてもらった研修会がありました。その他に何かござりますでしょうか。なければ、次に市公連の各委員会からそれぞれ報告をお願いいたします。連携事業委員会影山館長、広報デジタル委員会の竹内館長、よろしくお願ひいたします。

【影山館長】 (本日、連携事業委員会の影山館長が公務のため欠席のため、事務局より報告代読) 連携事業委員会の活動につきましては、さとやまアドベンチャーの参加者アンケートがまとまりましたのでご報告いたします。10月4日土曜日に実施いたしました里山アドベンチャーにつきましては、鎌足公民館周辺の里山の自然を生かした体験を提供し、自然との触れ合いや里山の保全に取り組む大人たちとの交流を通じまして、子どもたちの豊かな心と体を育み、自然豊かな木更津市の魅力を再発見するとともに、持続可能な社会への理解、特に、陸の豊かさを守ることの大切さについての認識を深めてもらうことを目的に実施いたしました。当日は72名の参加となりました。アンケートにつきましては、保護者の代理回答も含め69名からの回答をいただきました。事業の満足度につきましては、全体の94%が、かなり満足またはやや満足と回答しており、非常に満足度の高いイベントになりました。また、来年の参加希望については約87%の方が参加したいと回答しておりました。参加者のうち、公民館の講座に参加したことがない人は全体の約3割を占め、さらに低頻度の利用者を入れますと、全体の約8割程度が公民館をほと

んど利用したことがないと回答されました。青少年の公民館利用の促進の観点から見ますと、本事業の目標は達成できたかと思われます。続きまして、今後の活動につきましては、令和8年2月21日の土曜日、清見台公民館附属体育館及び、清見台中央公園を会場に、「凧づくりおよび凧揚げ大会」を実施する予定でございます。年が明けた1月上旬から各小学校へチラシの配布を行い、募集を行うよう準備を進めております。連携事業委員会の活動報告については以上でございます。

【竹内館長】 広報デジタル委員会からご報告を申し上げます。前回の定例会以降、12月13日土曜日に、「毎日がちょっと便利になる生成AI講座」という講座を、立正大学のデータサイエンス学部の白川教授にお越しいただきまして実施をさせていただきました。会場には60名ほど、またZoomでは20名ほどの申し込みがあり、実際の募集人員よりも多い形で参加をしていただき、実施後のアンケート等では、これからもそういった講座を期待したいというような声が聞かれました。来年度は生涯学習課の補助執行という形で、地域交流センターになっても社会教育という形でこういった講座の方が引き続き実施ができるべとというふうに思っております。今後の予定ですが、2月7日土曜日に、「ネットのウソの見抜き方」という講座を、元警部補で一般社団法人刑事事象解析研究所の所長にご講義いただく予定になっております。市民の方がより便利に快適に暮らすことができるよう、そういう場の提供を今後もして参りたいというふうに考えております。一方で職員の方につきましては、来年の1月14日水曜日に、スマホの支援員養成講座というような名目で、実際にスマホの質問等に対応できるようなスキルを身につけるということで、そういう職員向けの講座の実施の予定をしているところです。それとホームページの更新の推進、いわゆる職員のデジタルスキルの向上に努めているところでですので、今後も引き続きそういうスキルの向上等に努めて参りたいと思います。以上でございます。

【鈴木議長】 ありがとうございました。2つの委員会についてのご意見・ご質問のある方いらっしゃいますでしょうか。

【秋元委員】 さとやまアドベンチャーの件なのですけれども、年1回やっていますよね。好評だと聞いていますし、まだ私は行ってみたことないのですけれども、いろんな情報を聞くとかなか面白いなと思っていて、子どもにとっては非常に有意義だと思っています。ただ、残念ながら1回で終わっちゃっている。年に一回、だから本当は継続的に二、三回あれば子どもたちに、自然との関わり方みたいなものを知つて貰えるようなシステムを考えいく必要があるのではないかと思っています。私も個人的に、子どもに関わる問題をやっていますが、どうしても一過性になり、それをいかに継続するかが非常に苦

しくて。1つやったから次はどうしたらいいかというのは悩ましいことなのですけれども、それをやはりある程度の流れを作っていくかないと。子どもは1回行って面白かった、あとは行かないことになりますので、それを次はこういうふうに来たらもっと面白いよというような流れをやはり作る必要があるのではないかと思っておりますので、それをちょっと検討する。実際にやると大変ですけれども、検討してどういうふうに手を抜きながらやれるかというのは考えていただければというふうに思います。

【事務局】 ありがとうございます。連携事業委員会の方にもお伝えいたします。ご意見ありがとうございます。

【鈴木議長】 その他ございますでしょうか。そうしましたら、私のほうから1点、広報デジタル委員会に関してなのですが、これは公民館の広報デジタル委員会という狭い範疇ではなくて、もっと市全体として広げていかなきゃいけないと思います。地域で私自身が防犯指導員をやっておりまして、警察に話を聞くと今年度も何千万という詐欺が発生している。これは被害届を出した人だけであり、被害届を出さない被害者がたくさんいる。今後、市民を対象に、この「ネットのウソの見抜き方」を2月7日にやることなのですが、小中学生も含めて木更津に10万人以上住んでいるわけですよね。そこにどうやって周知徹底するのかということを考えいかなければいけない。町内会長もやっていますので、いろいろ町内ではやっているのですが、結局一方通行なのですね。町内に被害に遭った人がいるかどうかもわかりませんので何とも言えないのですが、いずれにせよ、先ほど冒頭で申し上げましたように、公民館だけではなく、市を挙げて取り組んでいくような動きができるのかなということを感じた次第であります。その他、よろしいでしょうか。

【鈴木議長】 それでは、金田地域交流センターの能城所長がお見えになりましたので、文化祭の報告をよろしくお願ひいたします。

【能城所長】 金田地域交流センターの能城と申します。令和7年度の金田地域交流センターの文化祭について、簡単にご報告させていただきます。実施日は令和7年10月26日日曜日の9時から15時に開催させていただきました。協力団体は約38団体、延べ470名ほどの方にご協力をいただきました。来場者数は約1,100名と、雨天のためもう少し参加人数が少なくなってしまうかなといったところだったのですが、想定していた以上に皆さん来ていただく結果となりました。来年度の課題ということで、いくつかございまして、雨天ということもあったので外で行うスペースに関してなんですが、こちらの参加団体が、展示屋外スペースが使えなくなってしまったということで、急きょ室内のいくつか

の部屋を正面にして使わせていただくことになりますて、ただ部分的に一部の団体様にご不便をおかけしてしまったというところで、今後は雨天時も考えて運営をしていきたいと考えております。また、駐車場として利用した金田東公園について、公園の芝生のスペースに駐車をする形だったのですが、こちらも雨天だったこともあり、公園の地面を荒らしてしまったため、こちらはサンコー株式会社で修繕の方を行いました。昨年の課題であった午前と午後の来場者数の差につきましては、昨年よりも、人数の差は若干少なくなりましたが、やはり午前に集中してしまっているため、1日中楽しめるイベントを改めて考えて開催していきたいと思っております。また、最後に発表の時間については、最終的に30分以上時間が押してしまう結果となりました。こちらの方は、発表団体の時間のコントロールをしなければいけなかつたところもございましたので、来年の課題として途中で空き時間を作り、時間通りに実施できるように調整していきたいと考えております。続きまして、事業費につきましては昨年度よりも若干予算の方を増やしまして17万円を予算として今年開催させていただきました。支出に関しましては16万8,163円となります。詳細につきましては資料に書いてある通りとなります。文化祭についての報告は以上となります。

【能城所長】 ありがとうございました。それでは、金田地域交流センターの文化祭に関して、何かご意見・ご質問のある方いらっしゃいますでしょうか。ないようでしたら、公民館の地域交流センターへの移行に関して、事務局から説明と報告をお願いいたします。

【事務局】 それでは、事務局より公民館の地域交流センターへの移行についてということで報告いたします。お手元にですがホッチキスどめの資料でパワーポイントの資料がお手元にあるかと思います。こちら公民館の地域交流センターの移行についてということで、令和8年4月以降ですが、地域交流センター移行についての概要でしたり、主な変更点、運用についてこちら記載しております。各地域の公民館におきまして、説明会をすでに、実施されたところもあるかと思いますが、利用者懇談会を実施しまして、地域の方でしたり、サークルの利用者・団体の方に説明していくところです。  
以上となります。

【鈴木議長】 今の事務局の説明に関して、ご意見ご質問ありますでしょうか。

【平野委員】 中郷の平野と申します。質問で6ページの営利非営利の区分についての項目で、一番下に詳細は「利用の手引き（案）」をご参照くださいとなっていますが、これはまだ案の状態でまだ決まっていないということでしょうか。

【事務局】 ありがとうございます。現在、案ということでいろいろと確認の方を行っておりまし

て、公民館と市民活動支援課ですり合わせを行っておりまして、現時点の案ということで、今後ですが精査されていくということです。

【平野委員】 それにつきまして、手引きの中に載っていない項目があるのですが、今度公民館から地域交流センターになって今までできなかった政治活動とか宗教活動についての項目がなくて、これは非営利の活動なのでしょうけど、免除になるかならないかというのはどうでしょうか。

【事務局】 使用料の減免の基準ということですが、現在、手引きに記載しておりますが、主に市の実施する事業でしたり、また他にも条件の方は伺っておりますが、また今後、市民活動支援課と確認していくことになるかと思います。

【鈴木議長】 はい、ありがとうございました。他によろしいでしょうか。それでは、これで終わりにしたいと思います。公民館の地域交流センターの移行についてまたご意見があれば、中央公民館にご連絡いただければと思いますのでよろしくお願ひいたします。皆様のご協力で10分ほど早く第一部を終了することができる運びとなります。ご協力ありがとうございました。これで議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。

【事務局】 長時間にわたりご審議ありがとうございました。これをもちまして第3回定例会を終了させていただきます。慎重審議にご協力いただき、誠にありがとうございました。